

半導体・コンピュータ・通信産業の流れ（1940 末～）

年	一般		半導体		コンピュータ		通信・ネットワーク		
	世界	日本	米国	日本	米国	日本	電話	インターネット	放送
1945	第二次大戦		トランジスタ発明		ENIAC		1880 代		1920 代
1950	米ソ対立始まる 朝鮮戦争	戦後経済復興期			UNIVAC1 大型汎用機の時代 IBM の独占(除日本)		ATT(米) NTT(日) の独占		ラジオ テレビ
1960	ベトナム戦争	高度成長期 東京オリンピック 環境問題	トランジスタ生産・ 利用拡大	トランジスタ生産	ハード・ソフトを分離販売 IBM360	互換汎用機 の生産		パケット通信 ARPANET	カラーテレビ
1970		石油ショック			PC の誕生			Internet Eメール	
1980			集積回路 インテル社 CPU 独占	通産省 プロジェクト 日米貿易摩擦	IBM/PC の成功 MS/DOS 互換機メーカー参入 マイクロソフト OS の独占	NEC9800			ケーブルテレビ
1990	ベルリンの壁崩壊 米国が支配的存在 になる	バブル発生・崩壊 平成不況 金融不安	Pentium AMD 成長		Win95 Win98	エプソン社挑戦・ 失敗 IBM/PC の流入 PC 価格低下	ATT 分割 NTT 民営化 NCC 参入		衛星放送
2000	9.11 テロ	景気回復(?)			WinXP		携帯電話成長	Web はじまる 商用化・成長	
2005	中国の成長	格差・少子化問題	CoreDuo		Vista			Google 成長 Web2.0	デジタルテレビ